

プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年5月21日、野見・須崎湾で採水したサンプルの検査依頼がありましたので結果をお知らせします。

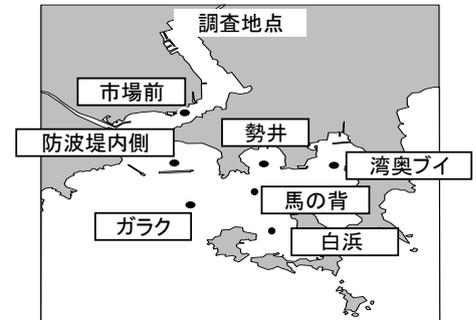
検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で48,600cells/ml、ケラチウム・フルカが最高で18cells/ml、カレニア・パピリオナセアが最高で1cells/ml、デイクチオカ・フィブラが最高で3cells/ml確認されました。ヘテロシグマについては漁業被害が想定される細胞密度を超えた状態が継続しています。

今後天候が回復した状態が続くと、赤潮原因種がさらに増殖する可能性があります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	ケラチウム・フルカ	カレニア・パピリオナセア	デイクチオカ・フィブラ
勢井-馬の背 付近1	0m	48,600	0	1	3
勢井-馬の背 付近2	0m	39,700	18	1	3



漁業被害が想定される細胞密度

- ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ケラチウム・フルカ:
100cells/ml(餌食いの悪化)
- カレニア・パピリオナセア: 赤潮発生時(へい死)
- デイクチオカ・フィブラ: 赤潮発生時(へい死)

「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>